

「翻訳勉強会」(仮称) 始めます!

関心のある方、お問い合わせをお待ちしています

昨年末、雲南省昭通市魯甸県大地震義捐金を「認定 NPO 法人・日本雲南聯誼協会」注) に届けた際、‘わんりい’の活動の一環として、聯誼協会に手伝えることがあればと申し出たところ、「手紙の翻訳ボランティアの手伝いが欲しい。協力いただければ有難い」とのことでした。

実は、聯誼協会が特に力を入れて活動しているのは、里親制度による雲南省少数民族の子女への教育支援で、里親の支援を受けている学生・生徒から里親宛の手紙が年3回ほど、どっと届き、その翻訳に人手が足りないのだそうです。

その後早速、聯誼協会から翻訳の依頼が舞い込み、‘わんりい’中国語勉強会のメンバーに声を掛けたところ、7名が手を挙げてくださり、早速動き出しました。今回は、昆明の大学で日本語を勉強している現地大学生が訳したものをチェックした分も含めて、49人分の手紙・年賀状、総計82ファイルを完成させました。

現地の高校生の手紙文ですので中国語そのものは余り難しくありませんが、今回の経験から手紙として、書いた人の思いを伝える日本語表現が難しいと感じました。書いた子供達の思いは同じでも、表現はいろいろです。表現の違いを生かしながら、その気持ちを日本語でどう伝えるか、独りであれこれ考えるよりも、皆で検討できるほうが、翻訳の質も上がり、メンバーの勉強になるのではないかと考え、そのために、メールが全員に届くネット上のサークルを作り、「翻訳勉強会」(仮称)として、正式には4月から活動を始めたいと思います。

最初は、聯誼協会から届く雲南の学生たちの手紙翻訳から始め、ゆくゆくは中国語の絵本や短いエッセイなどを日本語に、更に進んでは日本語の

絵本を中国語にするなど、皆で知恵を出し合いながら翻訳してみたいと思います。

中国語学習者は、教科書の課文を訳すのとは違った楽しさや難しさを味わえると思います。中国人の方々や留学生の皆さんにとっても、日常的な日本語を学ぶよい機会になるかと思います。指導者のいないサークルですがお互いに相談し合い、力不足を補い合って力をつけて行ければよいかと思っています。

原則、メール上での活動を考えておりますが、出来れば4月に一度顔合わせの会合を持ち、その後は、2、3ヶ月に一度程度、親睦を兼ねて集まり、相談しながら活動したいと考えています。

第一回目会合の場所・時間は、決まり次第、連絡頂いた方にお知らせします。又、4月号‘わんりい’でも場所・時間を明記して呼び掛けをしたいと思います。どうぞ皆様、奮ってご参加ください。

注) 認定 NPO 法人 日本雲南聯誼協会：
<http://www.jyfa.org/>

※※※ 問合せ ※※※

☎ : 090-4422-1374 (有為楠)
ういくす

E-mail : ukiuki65jpjp@yahoo.co.jp

※念のため、E-mail cc 欄に、
wanli@jcom.home.ne.jp を入れて下さい。

◆ 3月中にご連絡を頂けると嬉しいです。

